

新年度を迎えて

緊迫する国際情勢によるエネルギー価格をはじめとする原材料価格の高騰、長引く新型コロナウイルスの世界的蔓延によるサプライチェーンの混乱など波乱含みの年度明けとなりました。一方で、カーボンニュートラルに向けた動きは不可逆的に進行しています。

昨年6月に国が発表した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」においては、「温暖化への対応を経済成長の制約やコストとする時代は終わり、成長の機会と捉える時代に突入したのである」と宣言しています。

昨年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画において、当社の主力商品である天然ガスは、効率性・環境性などから「カーボンニュートラル社会の実現後も重要なエネルギー源」と位置付けられています。また当社が携わっている風力発電事業、太陽光発電関連事業についても、再生可能エネルギー導入拡大の動きの中で、新たなビジネスチャンスが期待できます。

まさにカーボンニュートラルに向けた動きは、当社の成長のまたとない絶好の機会であります。全社一丸となって叡智を絞り、事業拡大に取り組みを強化することが、当社の発展につながり、またカーボンニュートラル社会の実現に貢献できることとなります。

そのような認識の下に、以下の通り今年度の基本的経営方針として、「PEC版グリーン成長戦略の推進」を掲げました。個別の取組事項の設定にあたっては、昨年度の実績の徹底的なレビューと共に事業環境の変化も十分に踏まえた上で、時間をかけて社内で多角的に議論しました。またこの経営方針に基づく個別の取組事項の実行計画を具体的に落とし込んだアクションプランを策定しました。実行が全てです。時間軸を明確に持ち、スケジュールに沿って漏れのないよう一つ一つ丁寧に魂を込めて実行しましょう。

当然のことながら、これらの実行にあたっては、役職員及びその家族が心身共に健康であることが必要不可欠です。昨年度、当社は「健康経営宣言」を行うと共に、国から「健康経営優良法人2022(中小規模法人部門)」の認定を得ました。

現在、社を挙げて取り組んでいる「健康経営」の取組を更に深化させましょう。そして、今年度が当社として、そして役職員全員にとって輝かしい1年となるよう力を結集しましょう。

代表取締役社長 湊 好男

2022年度 経営方針(骨子)

I. 基本的経営方針

PEC版グリーン成長戦略の推進

官民をあげたカーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略の推進を当社の更なる成長の絶好の機会と捉え、既存事業である天然ガス供給事業、太陽光発電関連事業、風力発電の一層の強化を目指すと共に、当社の持つ知見を活かした成長分野への投資による収益機会の拡大に取り組む。

II. 全社的取組事項

- 働きやすい、働きがいのある職場づくり
- 人財育成
- 有事における事業継続に向けた態勢の強化
- 情報セキュリティの堅強化
- 地域・環境との調和に向けた取組

III. 部門別取組事項

【A ガス供給事業】

- ガス販売量の拡大に向けた営業活動
- 営業力強化に向けた提案力向上、スキルアップ
- 安定供給・保安レベルの維持強化
- 吉の浦一牧港導管(仮称)維持管理業務受託に向けた取組
- 吉の浦一牧港間(仮称)LNG燃料輸送業務受託に向けた取組
- PEC導管設置に関する着実な推進
- 安全管理の徹底
- デジタル技術の利用拡大
- ガス業務に精通した人材の育成

【B 可倒式風車事業】

- 既存7基の設備稼働率向上に向けた取組
- 島嶼国における新規海外案件獲得に向けた取組
- Vergnet社との新たな覚書の締結
- トンガ案件瑕疵担保責任設定項目の対応、関係者調整
- グループ外収益の拡大に向けた取組

【C 自家用発電設備事業】

- 自家発事業拡大に向けた取組
- 既存契約先への安定的サービスの提供と修繕計画の提案

【D 太陽光発電事業】

- 外部保安管理業務の着実な推進

2021年度新卒者 入社1年目を振り返って

2021年度入社の期待の新人に社会人1年目を振り返ってもらい、先輩からコメントをいただきました。



技術営業部 電機課
田仲 颯介
(たなか そうすけ)

〈一年を振り返って〉

さまざまな経験をした一年間で、風車の波照間2号機メインインチ補修工事が最も印象に残っています。PECとしても初めての補修工事ということもあり、台風の接近に伴う悪天候の中、夜中まで作業が続いた日もあったのですが、補修を終え無事に風車が回った時の喜びは鮮明に覚えています。

先輩の一言



技術営業部 電機課
宮平樹
(みやひら たつる)

田仲さんは作業を覚えることが早く、自分から積極的に作業に取り組んでいます。資格を取得するペースがすごく早く、1年のうちに2つも取得したので、内心とても焦っています。年齢も近いため、互いに切磋琢磨しつつ、成長していきたいと思います。

NEW STAFF



新垣 翔大
(あらかき しょうた)
■学歴
琉球大学 理学部
物質地球科学科
2016年卒業



本部町沖での沖釣り
■所属
技術営業部 ガス業務課
■主な資格
・乙種ガス主任技術者
・乙種機械高圧ガス製造
保安責任者
・第二種電気工事士

自己PR

卒業後6年ほど、県内LPG事業に従事していましたが、機会を得てLNG事業に携わらせて頂くこととなりました。前職で培った経験を活かし、不明な点は相談しながらお客様へ安全なエネルギーを安定供給できるように努めます。

今までの経験

前職ではお客様のガス設備の営業、点検、修理及び行政機関への年次報告や届出、ガス部門の保安監査などを経験しました。

今後の抱負

ガス主任技術者(甲種)及び管工事施工管理技士の資格取得を目指し、これから沖縄のインフラ事業に貢献できる人材となれるよう日々精進します。

趣味

大学時代の友達と、月一回ほど船をチャーターして沖釣りに行くことです。まだ、釣りを始めて1年ほどですが船長が釣れるポイントへ案内してくださるので、初心者の私でも大漁の時もあり、毎月の楽しみとなっています。今までアカジン・ナンヨウカイワリ・タマン・ムルーなどを釣り上げました。



屋我 綾乃
(やが あやの)
■学歴
日経ビジネス工学院
情報経理科
1999年卒業



金閣寺にて
■所属
総務部 管理課
■主な資格
・日商簿記2級
・建設業簿記2級
・Excel, Word3級
・ビジネス実務法務3級

今までの経験

卒業後、大手メーカーの沖縄営業所で経理(月次決算他)、総務(給与計算他)全般を経験しました。業務量が多岐に亘っていたので、業務時間内にいかに正確に仕事をこなすかだけを常に考えていた記憶があります。効率化には人一倍思いがあるので、当社でも業務効率化に携わっていきたいです。

今後の抱負

新型コロナ関連のような突然に発生する仕事や、近年急速に進んでいるデジタル化にも柔軟かつ迅速に対応していきたいです。今後は業務量も増えていくので、正確且つスピーディーに積極的に取り組みたいと思います。

趣味

旅行が趣味です。新型コロナ前は思い立ったら土日を利用して旅行に行っていました。特に関西地方の城や寺巡り(大阪城、京都各寺、東大寺など)が好きで、子どもたちが歴史を学ぶ前に建造物を見せていくルールを決めています。最近は新型コロナの影響などで行くことができなかったのですが、ふるさと納税で行きたい場所に寄付をし、産地の品が届くのを楽しみにしています。



編 / 集 / 後 / 記 /

◎ 健康志向として開催された社内のウォーキングイベントの影響で、週末は散策が日課となった。歩いたことのない細道や年代を感じる建物など、新たな発見も楽しみである。また、国際通りを歩くと観光客が少しずつ増え、活気を感じるようになった。この春が長いトンネルの出口であることを願う。

◎ 母に「笑いなさい」と怒られ撮った初ランセル写真。日差しが眩しく顔をしかめると余計怒られたあの時。同じ家の玄関先でカメラを持つ妻の後ろ姿の先には、いつか自分が見たものと変わらぬ春景がありました。そんな母親たちの愛情が家族を一つに繋いでいると改めて感じました。

1

【寄付】

トンガ王国へ義援金200万円を寄付

当社は、沖電ならびに沖電グループ会社の沖縄エネテックと共に、1月15日に発生したトンガ沖海底火山噴火および津波災害により被災したトンガ王国の復興支援を目的に、トンガ政府へ義援金200万円を寄付し、2月8日、トンガ大使に対する贈呈式を催しました。当社は2019年にODA(政府開発援助)を活用し同国向けに可倒式風車5基を納入しています。



▲沖電東京支店にて
贈呈式出席者(写真右から) トンガ王国テヴィタ・スカ・マンギシ大使、
沖電本永社長、当社湊社長

3

【社内研修】

低圧電気取扱者特別教育を実施

低圧の電気工事の実施にあたって、その取扱者は電気取扱業務に関する特別教育を受けることが義務付けられています。当社は、従来、外部機関が主催する特別教育を受講していました。今般、電気課知名課長代理が特別教育の講師資格を取得したことから、同課長代理が講師となり、1月26日を第一回として、3回、社員向けに特別教育を実施しました。



▲低圧電気取扱者特別教育の様子

5

【健康経営】

「健康経営優良法人2022」に認定される

3月9日付で当社は日本健康会議より「健康経営優良法人2022(中小規模法人部門)」に認定されました。今後も社員全員の心身にわたる健康が事業の要であるとの認識の下、健康経営の推進に取り組みます。



▲認定証(中小規模法人部門)

2

【ガス供給事業】

タンクローリーによるLNG出荷5,000回達成
りゅうせき様への感謝状贈呈

2015年のLNGローリー初出荷から2月18日に累計出荷回数5,000回を無事故、無災害で達成したことを記念して、ローリーでの輸送業務を担う(株)りゅうせき様に対して、2月25日に、当社より感謝状と記念品を贈呈しました。



▲左より、(株)りゅうせき上江洲調査役、赤嶺部長、根路銘常務取締役、當銘社長、当社湊社長、沖電本永社長、佐久本執行役員、当社神元常務取締役
なお、達成当日には現地にて記念撮影を行いました。



4

【国家資格】

ガス主任技術者乙種に1名が合格

ガス主任技術者乙種に当社から1名が合格しました。

これにより、当社社員のガス主任技術者は、甲種4人、乙種4人となります。(出向者を除く)



▲合格者 上石 将暉

6

【春闘】

2022年度における春闘について

電力総連の統一要求日である2月17日にPEC労組より、要求書の提出がありました。現在、真摯な労使交渉により、早期の妥結を目指しています。



▲2022年度春闘要求

DXへの取り組み 第1回

当社では、デジタル化を積極的に進め、業務効率化やBCP対策に取り組んできました。これまでの取り組みであるRPAの導入、ファイルサーバーのクラウド化およびPCのシンクライアント化、電子承認クラウドの導入などを紹介します。

1 RPAの導入

ユーザーの声



前黒島 奈緒

会計モニター発行作業を以前は1件ずつ作成していましたが、RPA導入後は自動で作成することができますようになりました。入力作業にかかる時間が大幅に短縮しました。

導入業務

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 会計システム入力業務 |
| 2 | 請求書作成業務 |
| 3 | 関係省庁への報告書作成業務 |
| 4 | LNG配達計画業務 |
| 5 | ガス発電機熱量算出業務 |



上石 将暉

導入したことによって、LNGの配達計画を策定する際の在庫データ取得作業とお客様へのメール送信にかかる業務時間を軽減することができました。また、副次的にヒューマンエラーを防止することができ、計画ミスやメールの誤送信の原因を排除することができました。

2 ファイルサーバーのクラウド化及びPCシンクライアント化

担当者の声



儀間 泰

GSC環境を活用することにより、コスト低減とセキュリティ対策の両立を実現することができました。



3 電子承認クラウドの導入

当社は、業務の効率化やペーパーレス化を目的に、昨年10月より電子承認のクラウドサービスを導入しました。同サービス導入により、出張や外出時でも上長による承認が行える他、文書が停滞している段階が確認できスマートな申請～承認作業を行えるようになりました。

4 おきでんDXリエゾン

当社は、沖電グループ大でDXへ取り組むために立ち上げられた「おきでんDXリエゾン」に3月から参加しています。

当社から、リエゾンメンバーを2名配置しました。

メンバーの声



経営職 比屋定 優

当社は沖電グループの中でも小規模であることを活かし、先端的かつインベーティブな取り組みにスピード感を持って対応します。できない理由はいくらでもあります。「まずはやってみよう」を頭に業務効率化にチャレンジしてまいります。



担当 川上 壮一

業務の効率化を図るために、おきでんDXリエゾンで紹介された事例を検討し、電子化できる業務はどんどん電子化していくよう頑張っていきたいです。